



遠い空から

～元気に頑張っています～

兵庫県弁護士会会員

ひまわり基金あわじ法律事務所

星野 拓哉 (73期)

Takuya Hoshino

1. ひまわり基金あわじ法律事務所の紹介

ひまわり基金あわじ法律事務所は、淡路島に、2011年に設置されました。

私は、第二東京弁護士会の都市型公設事務所である弁護士法人東京フロンティア基金法律事務所です。1年間の養成を受け、2022年4月から5代目所長に就任しました。

ひまわり基金あわじ法律事務所は、今年で開所13年目になりますが、実は、そのほとんどの期間で、第二東京弁護士会（東京フロンティア基金法律事務所）出身の弁護士が所長を務めています。その意味で、ひまわり基金あわじ法律事務所は、第二東京弁護士会の精神を色濃く受け継いだ事務所なのです。赴任して1年が経ちましたが、先代の先生方が切り拓いてくださった地域からの信頼を、日々感じています。私も、第二東京弁護士会の「魁」の精神を胸に、ここ淡路島の地で、様々な分野にチャレンジしていきたいと思っています。

ひまわり基金あわじ法律事務所では、私と2名の事務員さんで、日々の業務をこなしています。事件の割合などは、他のひまわり基金法律事務所と大差はありませんので、バックナンバーをご参照ください。幸いなことに、多くのご依頼をいただいておりますので、事務員さんの力なしでは、到底事件を回すことはできません。ひまわり基金あわじ法律事務所が地域の信頼を得ることができ

ているのも、事務員さんあってのことなのです。とても頼りになる事務員さんを、ここでこっそりと自慢させてください。

2. 弁護士と災害対策

(1) 阪神・淡路大震災の被災地として

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災で神戸市などに大きな被害が出たことはご存じだと思いますが、淡路島も北淡という地域を中心に大きな被害が出ました。北淡には、野島断層保存館という博物館があり、阪神・淡路大震災を引き起こした野島断層が、当時のまま保存されています。

私が現在所属している兵庫県弁護士会は、阪神・淡路大震災の直接の被害を受けており（弁護士会館を避難所として開放していたそうです）、当時、最前線で対応に当たった先生方も所属されていますので、災害復興等支援委員会を中心として、災害対策に非常に力を入れています。

私は、赴任するまで、発災時における弁護士の役割ということは考えたこともありませんでしたが、いつの間にか災害復興等支援委員会の委員になり、今では、力を入れて活動するようになりました。

(2) 各自治体との災害協定の締結

私は、神田安積先生が会長をされていたときの第二東京弁護士会から、津久井進先生が会長をさ

れていたときの兵庫県弁護士会に登録換えをしました。津久井先生と言えば、被災地・被災者支援の第一人者の先生です。

私が赴任した際に、津久井先生からお祝いの花をいただき、「タダより怖いものはないよ。」という冗談(?)と共に誘っていただいたのが、私と災害対策との関わりの始まりでした。

兵庫県弁護士会は、津久井先生が会長のときから、県内の各自治体と、「災害時における連携協力に関する協定」の締結を進めています。この協定は、自然災害が発生した場合に、スムーズに法律相談を実施できるようにし、被災者の迅速な生活再建を図ること及び災害に備えて平時から連携強化を図ることを目的にしています。現在までに、約半数の自治体と協定締結を行い、今後も締結を進めていく予定です。

私は、淡路島内の自治体との協定締結に関わらせていただいています。淡路島は、本州と明石海峡大橋で繋がっていますが、大きな自然災害が発生した場合には、寸断されるおそれもあります。そのような場合であっても、淡路島内に事務所を構えるひまわり基金あわじ法律事務所が、日頃から地元自治体と連携を取っておけば、素早く生活再建に向けた法律相談を行うことができます。私は、このような観点からも、司法過疎地域に事務所を構え、地域に根差して活動していくことには意味があるのではないかと考えています。私もまだまだ分からないことだらけですが、万が一の際に、しっかりと法律相談を実施できるように、平時から研さんに励みたいと思います。

(3) 第二東京弁護士会との繋がり

実は、災害対策の関係でも、兵庫県弁護士会と第二東京弁護士会は繋がりががあります。兵庫県弁

護士会、第二東京弁護士会、新潟県弁護士会及び熊本県弁護士会は、災害共助協定を締結しています。この協議会が、今年は兵庫県で開催され、先程紹介した野島断層保存館も見学していただきました。第二東京弁護士会からも沢山の先生がお越しくださり、私も、お世話になった先生方にお会いすることができました。第二東京弁護士会と繋がりを持ちながら仕事ができるのは、うれしい限りです。今後ともよろしく願いいたします。

3. タマネギに感動!!

最後に、淡路島をアピールします。まずは、何と言ってもタマネギです。淡路島では、春先から秋にかけて、スーパーアップ、スーパー春いちばん、七宝早生7号、ターザン、もみじ3号など、様々な品種のタマネギが収穫されます。淡路島に来るまで、タマネギに品種があることすら知りませんでした。今では淡路島のタマネギのとりこです。私のオススメは6月頃から収穫が始まるターザンです。

このエッセイが皆さんの元に届く頃は、淡路島はハモの季節になっていると思います。イカナゴのくぎ煮、由良の赤うに、3年とらふぐ、サワラ丼、えびす鯛、最近ではサクラマス新たな名産品として売り出しています。どれも、絶品です。海の幸だけでなく、淡路牛もたまりません。淡路島の美味しい食べ物に囲まれて、私もすくすく(ぶくぶく?)と成長しています。

食べ物だけではなく、淡路島は、サイクリング好きの人たちにも人気ですし、西海岸を中心に、観光地もどんどん開発されています。

淡路島にお越しの際は、ぜひご連絡ください。美味しいお店にお連れしますよ!



明石海峡大橋と淡路島



兵庫県指定史跡名勝天然記念物「絵島」

